

(1)学力調査結果から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対 策(・)
国語	○全体の平均正答率は全国・県平均より高い。 ○自分の考えを記述する形式の正答率が高い。 ●話し合いの目的や意味を問題文から読み取ることが苦手。 ●話すこと聞くことに関する思考・判断・表現が苦手。	・今後もICTを活用しながら、主体的・対話的で深い学びとなる学習を行っていく。 ・ねらいを明確にした話し合いの展開を学習過程に取り込んでいく。
算数	○全体の平均正答率は全国・県平均より高い。 ○図形の読み取りに関わる正答率が高い。 ●文章から必要な情報を読み取ることが苦手。 ●数と計算で分数の計算に慣れていない。	・今後もICTを活用しながら、主体的・対話的で深い学びとなる学習を行っていく。 ・自分の考えを他者に説明する展開を学習過程に取り込んでいく。
理科	○全体の平均正答率は全国・県平均より高い。 ○実験を通して学習をした内容に関わる正答率が高い。 ●身の回りの金属、乾電池等の知識が定着していない。 ●エネルギーを柱とする領域が苦手。	・今後もICTを活用しながら、主体的・対話的で深い学びとなる学習を行っていく。 ・身の回りに結び付けて考える展開を学習過程に取り込んでいく。

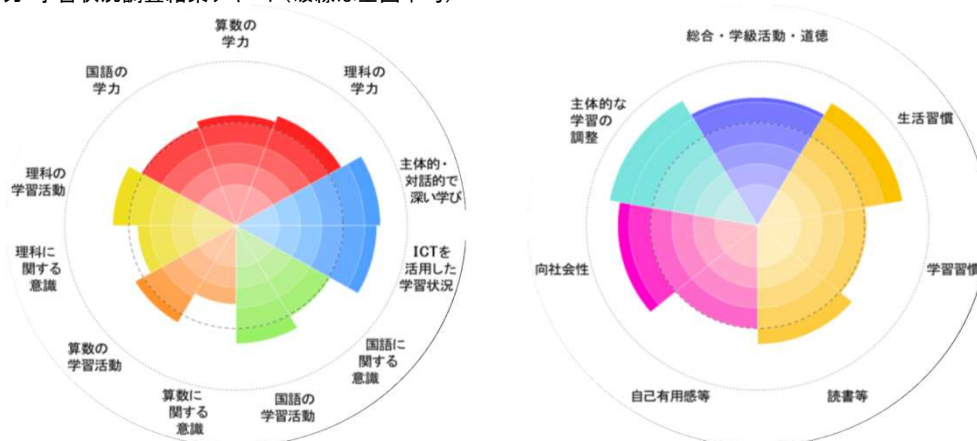
(2)質問紙調査から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対 策(・)
質問紙	○自己肯定感が高い児童が多く、人の役に立ちたい、地域や社会をよくしたいという思いを持っている児童が多い。 ○ICTを積極的に学習活動で活用している。 ●国語、算数、理科の学習に対して自信がない。 ●各教科の学びは将来役に立つと考えているが、学習に対しては消極的。	・今後もICTを活用しながら、主体的・対話的で深い学びとなる学習を行っていく。 ・実験や体験活動などを積極的に取り入れ、考えるきっかけや気づきをみられる展開を学習過程に取り込んでいく。 ・実態に応じて学習内容をわかりやすくすることで、学習することの楽しさを感じられるようにする。

(3)その他、今後特に力を入れて取り組むこと

学校全体	・各教科において、文章を読み取ることが必要であるので、今後も文章を読み解く力をつけていくことが大切である。 ・自分の考えを説明する学習活動を取り入れ、論理的に文章を組み立てる力をつける。 ・引き続き読書活動を推進し、読む機会を増やす工夫をする。
------	--

(4)学力・学習状況調査結果チャート(破線は全国平均)



【受検者数】

21 名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。

(5)質問紙調査の結果より(学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています。)

